

徳島赤十字病院臨床研修プログラム：内科

コース責任者：尾崎 敬治

研修期間：選択科として4週間から

I：一般目標（GIO：General Instructional Objective）

医師として望ましい姿勢・態度と基本的な診療能力を身に付け、頻度の高い一般内科疾患を理解し、他の医師やメディカルスタッフと協調して適切な診療を行うことができる。

II：行動目標（SBOs：Specific Behavioral objectives）

A. 基本姿勢・態度 研修医手帳を参照

- 1) 患者・家族、他の医師やメディカルスタッフと良好なコミュニケーションをとり、チーム医療を実践することができる。
- 2) 疾患本位ではなく患者本位の全人的な医療のあり方を学び、実践できる。
- 3) 医師としての社会的使命を理解し、保健予防からリハビリまたは在宅ケアまで視野に入れた包括的診療の重要性を学ぶ。

B. 診察法・検査・手技

①主な医療面接・基本的な身体診察法

- 1) 一般内科疾患患者の医療面接、身体診察を正確に行うことができる。
- 2) 全身を系統的に診察し、所見を挙げるとともに正確に診療録への記載ができる。
- 3) 頻度の高い病態・疾患に対して、エビデンスに基づく標準的な診療を理解し、実施することができる。
- 4) 患者及び家族に病状や治療について正確に説明することができる。

②主な基本的な臨床検査

- 1) 一般内科診療に必要な検体検査、画像検査、病理検査等を選択しオーダーすることができる。結果を解釈することができる。

※検査項目一覧

（尿検査、便検査、血算・白血球分類、動脈血ガス、血液生化学、血清学的検査、細菌学的検査、細胞診・病理組織検査、心電図、肺機能検査、超音波検査、単純X線検査、CT・MRI など）

③主な基本的手技

- 1) 採血法（静脈血・動脈血）を実施することができる。
- 2) 注射法（皮内、皮下、筋肉、静脈確保、点滴・静脈内注射）を実施することができる。
- 3) 経鼻胃管の挿入・管理を適切に行うことができる。
- 4) 髄液検査、胸・腹水穿刺を指導医または上級医の元で適切に実施することができる。

- 5) 抗生剤の適正使用を理解し、実施することができる。
- 6) 輸液療法を理解し、実施することができる。
- 7) 輸血療法を理解し、実施することができる。
- 8) 栄養療法を理解し、実施することができる。

C. 主な症状・病態の経験

発熱、全身倦怠感、食欲不振、体重増加・減少、浮腫、頭痛、めまい、咳・痰、胸やけ、リンパ節腫脹、誤飲、誤嚥 など

Ⅲ：学習方法 (LS : Learning Strategy)

1) LS (方略) 1 : On-the-job training

■主な病棟業務

- ・主治医を含む指導医または上級医の指導のもと、OJT を中心として総合内科診療に参加する。診療チームの入院患者から常時 3～5 名を担当し、指導医または上級医とともに診断・治療にあたる。
- ・担当患者の医療面接、系統的身体診察や検査計画の作成を行い、SOAP 形式で診療録に記録する。
- ・基本的な検査は指導医または上級医に相談のうえ自ら実施し、その他の検査についても適応を判断し、結果を解釈する。
- ・担当患者の一般 X 線撮影、超音波検査、CT・MRI、内視鏡など画像検査の手技・読影方法を学ぶ。
- ・医療保険制度を理解し、診断書などの書類を指導医または上級医とともに作成する。

■主な外来業務

- ・総合内科外来にて初診患者の医療面接と診療録記載を行い、指導医または上級医の指導のもと外来業務のシステムや手順を学ぶ。
- ・指導医または上級医の担当する平日日勤帯の内科系救急業務に同行し、救急患者・重症患者への初期対応を身に付ける。
- ・定期的に夜間・休日業務に参加し、指導医または上級医とともに内科系 ER 患者への初期対応を行う。救急車搬送患者には、救急担当当番医と協力して心肺蘇生を含む救急処置に参加する。

■補足

- ・災害訓練等に積極的に参加し、要請時には指導医または上級医とともに救護班活動に従事する。

2) LS (方略) 2 : カンファレンス・勉強会

- ・内科カンファレンス（毎週月曜開催）で、新規担当患者の症例提示を行い、問題点や診療方針についての意見交換を行う。

- ・ 毎日の申し送り（チーム別ショートカンファランス）で担当症例の要約を提示し、意見交換を行い、病態解釈や診療方針についてフィードバックを受ける
- ・ 定期的に行われる勉強会、臨床カンファランス・講演会、CPC 等に積極的に参加し、常に医学知識をアップデートするとともに、広く臨床医学へ見識を深める。

3) LS（方略）3：学会・研究会・学術活動

- ・ 各種の院内研修（医療安全、感染対策など）に参加し、臨床医として必要な基本知識を身に付ける。
- ・ 担当症例の学会発表や症例報告論文の作成を通じて診療プロセスをレビューするとともに、適切なプレゼンテーション能力を身に付ける。

○週間予定表

	月	火	水	木	金
午前	チーム別カンファランス 病棟・救急診療	チーム別カンファランス 消化器内視鏡	チーム別カンファランス 外来診療	チーム別カンファランス 院内紹介（他科併診）	チーム別カンファランス 病棟診療
午後	病棟・救急診療 内科全体カンファランス（症例提示）	消化器内視鏡 病棟診療 チーム別カンファランス	病棟診療 チーム別カンファランス	病棟診療 チーム別カンファランス	病棟診療 チーム別・外来症例カンファランス

＊外来・検査等の担当曜日は直属の上級医のスケジュールにより異なる。

IV：学習評価（EV：Evaluation）

PG－EPOC による総合評価

- 1) 個々の診療記録と退院要約（サマリー）は、定期的に指導医の評価と承認を受ける。
※退院要約（サマリー）は、1 週間以内に記載すること。
- 2) ローテイト研修終了時に、PG－EPOC に診療経験にもとづく自己評価を行い、指導医による評価を受ける。
- 3) 診察態度や協調性について看護部及びメディカルスタッフ等による 360 度評価を行う。